

博物館資料保存論

展示論

No.	書名 / 論題	編著者	資料の解説 / コメント
220	現場で使える美術著作権ガイド	甲野正道 著；全国美術館会議編	博物館の資料の展示、図録への掲載など、実は知らないと困る著作権法について解説。改訂新版。
221	博物館展示論	黒沢浩編 著	資料は博物館に収蔵され、展示されます。資料と密接に関わる「展示」を解説。
222	博物館展示論	佐々木利和、松原茂、原田一敏編著	放送大学の学芸員資格科目の教科書。展示。
223	博物館展示の研究	青木豊著	展示について概念、史的変遷、形態と分類、展示手法などを詳細に論じる。
224	集客力を高める博物館展示論	青木豊著	昨今の博物館では、集客効果を上げるのが命題化されている。本質的に展示を改善し、市民の集まる場とするための方法を探る。
225	展示の政治学	川口幸也編	展示、すなわち見せる・見ることには相互の意図、意味が関わってきます。博物館、美術館、博覧会などの現場から展示の背景を読み解きます。
226	博物館展示の理論と実践著	里見親幸著	長年、展示に携わってきた著者が、展示理論、空間構成、照明、保存技術にいたるまで網羅的に解説。
227	美術館・博物館の展示：理論から実践まで	デビッド・ディーン著；山地秀俊、山地有喜子訳	観衆が満足する展示とは。展示計画、デザイン、収集品の保管、テキストの作成など、理論から実務までを解説。
228	展示論：博物館の展示をつくる	日本展示学会編	関係者が総力を挙げ、展示のプロセス、要素、情報メディア、活用の方法までを詳しくまとめています。
229	展示学事典	日本展示学会編	展示とはどのように構築するのか。現場のノウハウを一冊にまとめた事典です。
230	地域博物館への提言：討論・地域文化と博物館	日本展示学会展示学講座実行委員会編	地域振興と博物館の活用とは。地域博物館での企画、計画推進、建築、展示を検証し、提言を行う。
231	学芸員のための展示照明ハンドブック：博物館と美術館の照明に役立つポイント	藤原工著	博物館の展示照明の基本事項、鑑賞者と展示物との関係性ほか、展示照明について幅広い内容をまとめています。
232	博物館展示と地域社会：民俗文化史からのまなざし	西海賢二著	歴史民俗系を主とした地域と博物館の役割。住民の自分史を地域史・文化へと広げ、博物館展示に展開させる循環型の活動を考える。『生活再現の応用展示学的研究』は琵琶湖博の実践編。
233	ミュージアムと記憶：知識の集積/展示の構造学	スーザン・A・クレイン編著	記憶と歴史が集積する場としての博物館について、見学者・学芸員、あるいは自然史から美術館まで幅広く横断して論じる。
234	2015戦争を視る(Rear：芸術批評誌リア：No.36)		戦後70年。戦争絵画や映画、画家と戦争、戦争をめぐる美術展など、戦争を芸術論的に多角的に論じる。
235	ミュージアムと負の記憶：戦争・公害・疾病・災害：人類の負の記憶をどう展示するか	竹沢 尚一郎編著	博物館で戦争や公害等、負の記憶が展示されている。博物館自体が積極的に負の記憶の意味を問い直し、来館者と共に展示のあり方を示すのは可能か。
236	歴史展示のメッセージ：歴博国際シンポジウム「歴史展示を考える-民族・戦争・教育」	人間文化研究機構国立歴史民俗博物館編；小島道裕〔ほか〕著	歴史展示で資料を教育にどう活用するか。民族と戦争という課題を軸に展開した、国際シンポジウムの記録。

237	変貌する美術館	加藤哲弘 ほか編	美術館の新しい形は何か、近年国内外の展覧会で示された視点や方向性に焦点を当てて紹介。
238	鎌倉からはじまった。 「神奈川県立近代 美術館鎌倉」の65年 = It began in Kamakura : the 65 years of the Museum of Modern Art, Kamakura	神奈川県 立近代美 術館編	日本で初めて登場した近代美術館、神奈川県立近代美術館鎌倉の65年間の展覧会を記録にまとめ、解説。
239	パブリックアートの現 在：屋外彫刻から アートプロジェクトま で	柳澤有吾 著	パブリックアートが私たちに問いかけているものは何か。具体的な作品例から意図を考察する。
240	私の展覧会クロニク ル：1978→2009	平野公憲 著	著者が関わって来た数多くの展覧会を基礎に、展覧会が開催に至るまでの過程を丹念に報告しています。
241	21世紀の科学館像： 展示・運営に関する 提言	馬淵浩一 著	科学館の使命、展示を概観し、これからの時代、科学館の展示と活性化をどう果たすべきかを論じています。
242	リレー企画「小さな展 示館」		Webで復刊した「文化遺産の世界」。全国各地の小さな博物館を取り上げ、展示や体験等の活動を紹介する連載を冊子化。
243	展示と発表	小川誠、奥 山清市、矢 野真志共 著	展示作成の簡易な方法を実例に基づいて紹介。展示のノウハウが詰まっています。
244	ミュージアムの憂鬱： 揺れる展示とコレク ション	川口幸也 編	ミュージアム展示をめぐる問題や成果を、様々な時代と場所から検証し、これから可能性を問うています。
245	博物館での展示と学 び	一瀬和夫 著	博物館での展示や技法、学びのプログラムづくりなどを、理論と実践両面から示します。
246	ユニバーサル・ミュ ジウム：さわる！“触” の大博覧会	国立民族 学博物館 編集	コロナ禍は非接触社会の限界を示しました。ユニバーサル・ミュージアムを単なる障害者対応に留めない、展示の実践。
247	表現をめぐる知的財 産権について考える 本：障害とアートの 相談室「改訂」	たんぽぽ の家編著	障害のある人と表現することを通して、社会とつながる仕組みづくりに取り組むなかで学んできた、知的財産権にまつわる事柄をまとめる。
248	制作へ：上妻世海初 期論考集	上妻世海 著	芸術や美術をめぐる制作、表象の方法。実践しながら人類学・哲学的に思考する論集。
249	ミュージアム展示と情 報発信	若月憲夫 編著	情報学の観点から、展示の現状、方法論や情報技術の活用について検討する。
250	舞妓モダン：Maiko beauty：画家たちが 描いた京都の美しい 舞妓たち	京都府京 都文化博 物館企画・ 編集	日本近代、京都祇園など舞妓、花街が広がっていく中で、描かれ再生産された舞妓のイメージを絵画から追究。
251	官展にみる近代美術 ：東京・ソウル・台北・ 長春	ラワンチャ イクン寿子 [ほか] 編	官展を切り口に、20世紀前半の東アジアの近代美術について展望する。展覧会図録。
252	帝国の祭典：博覧会 と「人間の展示」	小原真史 著	商品展示に留まらず、植民地主義を背景に異民族の人間の展示へと進んでいった万博の背景を問う。
253	展覧会の政治学と 「ブラック・アート」言 説：1980年代英国 「ブラック・アート」運 動の研究	萩原弘子 著	1980年代の美術運動を対象とした分析に基づき、展覧会の政治学を提起する。
254	No museum, no life?： これからの美術館事 典：国立美術館コレ クションによる展覧会	東京国立 近代美術 館編集	美術が無い人間生活はあり得ない。美術品をさまざまな切り口で捉えなおし、文化への扉を示す。